

静電気学会全国大会_HRSB 賞報告書

熊本大学大学院 修士課程 2 年
龍 輝優

私は、2018 年 9 月 13-14 日に東京工業大学大岡山キャンパスにて開催された第 42 回静電気学会全国大会に参加し、「窒素及び酸素ガス組成比がナノ秒パルス放電の挙動に与える影響」という題目にて口頭発表をさせて頂きました。

本発表の内容は、次世代の環境浄化技術として期待されるナノ秒パルス放電法を用いたオゾン生成の更なる高性能化を目的として、雰囲気ガスの窒素及び酸素ガス組成に着目し、その放電挙動を追ったものです。結果として、それらガス組成を変化させることは、ナノ秒パルス放電中の電子エネルギー状態を制御可能であることを示しました。なお、本発表に対しての質疑応答の際には、新たな視点からの質問や建設的な意見を受け賜わり、私の研究生活にとっても非常に豊かで貴重な経験となりました。

末筆ながら、この度は、栄えある HRSB 賞を受賞賜わり、また、ヒロセ・ブランズ様からのご寄付の基、静電気学会参加費用および旅費を助成して頂いたことに、心より御礼申し上げます。また、日頃より親身なご指導をいただいております熊本大学の浪平准教授、並びに静電気学会関係者の皆様に重ねて感謝いたします。今回の受賞を糧とし、静電気分野における技術の発展に貢献できるように精進致します。

